

いすみ鉄道沿線地域の総合事業について

計画事業

現状と課題

- いすみ鉄道は、地域住民の重要な生活路線であるほか、首都圏に近くお手軽な観光利用も期待できる路線でもある。
- しかし、少子高齢化の進展、自家用自動車の普及等により、輸送人員が低迷し苦しい経営状況にある。
- 鉄道を下車後、観光地等を巡回する公共輸送手段が無い。

活性化の方向性

- 平成20年度に実施した調査結果を踏まえ、公共交通の利便性向上、公共交通の利用促進、効果的な広報・宣伝を連携させ、地域住民のマイレール意識の醸成や鉄道の需要喚起をすすめ、いすみ鉄道の利用促進をはかる。

実施する事業の内容

○利便性向上に関わる事業

- ◆地域イベントに連携した鉄道の増便・二次交通の運行(平成21年度～23年度)
- ◆鉄道の沿線の観光地アクセス改善に向けた鉄道の増便・二次交通の運行(平成21年度～23年度)
- ◆サイクル&ライド(平成21年度)

○公共交通の利用促進に関わる事業

- ◆ホテルウォッチングトレインの運行(平成21年度～23年度)
- ◆ミステリークリスマストレインの運行(平成21年度～23年度)
- ◆ボランティア活動運営支援(平成21年度～23年度)
- ◆鉄道利用促進を目的としたマップ等の作成(平成21年度～23年度)
- ◆駅からのハイキングマップの作成(平成22年度)
- ◆鉄道沿線の観光施設への誘導看板設置(平成21年度～22年度)

○効果的な広報・宣伝に関わる事業

- ◆鉄道利用促進を目的としたイベント情報提供(平成21年度～23年度)
- ◆広報宣伝活動(平成22年度～23年度)
- ◆鉄道PR拠点整備(平成21年度～23年度)

いすみ鉄道沿線地域：総合事業の実施区域

